

平成 27 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P65	ホームページの効果的運用	社協の各種の募集記事やイベントの広報、関係機関へのリンクなど、情報発信の手段として効果的な運用を行います。	全社	○	更新しやすい新しいシステムを導入し、写真や情報を新しいものにしています。メール相談については、面談による相談を重視し見合わせています。読み上げシステムについては、導入困難なシステムの為計画を見直します。	改善	項目を内容毎に大別し、活用し易いホームページにしていきます。またブログを活用して社協の事業について情報発信していきます。
P66	「福祉のまち ながくて」の発行	社協で行っている事業などの広報紙として、社協の役割や日頃の活動状況などをお知らせしています。	全社	◎	モニター制度の導入やイメージキャラクターを利用して、社協の取り組みなどをよりわかりやすくしていただけるような広報紙を年4回発行しています。	継続	市民に愛される情報紙にするため、社協の告知ばかりでなく、読んで役立つような内容、特集を掲載していきます。
P67	【重点プロジェクト】 地区社協設置事業（CSW の配置）	制度の狭間で困っている方を支援するCSWを置き、地域住民の方と一緒に誰もが安心して暮らせる地域になるよう考えていく体制を作ります。	地域福祉係	○		別紙参照	
P68	【重点プロジェクト】 「見守りサポーター ながくて」養成事業	「見守りサポーター ながくて」を養成し、新しい見守り体制を作ります。あいさつ運動を行う「初級」、サロンの支援や地区社協の部員となる「中級」、訪問活動も行う「上級」の3種類の講座があります。	地域福祉係	○		別紙参照	
P69	【重点プロジェクト】 地域交流のつどい・サロン活動の支援	身近な地域で、仲間との交流や生きがいづくりをきっかけに「閉じこもり防止、健康増進」を目的とした団体に対し、助成金交付や立ち上げ支援、運営相談を行います。	地域福祉係	◎		別紙参照	

平成 27 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P70	福祉実践者のつどい	市内の福祉事業所に勤務している職員同士の意見交換や交流を目的に3か月ごとに実施しています。	地域福祉係	◎	アンケート等で参加者の意向をふまえ、交流会、ケース検討会・学習会などを実施しています。	改善	参加の意向により、4か月ごとの開催とします。開催を継続し、交流会や検討会を続け、事業所間の横のつながりの強化し、職員のスキルアップを目指します。
P71	【新規事業】 各種講座の開催	住民全ての方が、安心して暮らせるような市全体の福祉の向上を目的にこれまでにないインフォーマルな視点で、多分野にわたる講座を開催します。	地域福祉係	◎	平成 26、27 年度ともに、計画通り年 8 回開催しています。婚活講座、終活講座、中高年のおしゃれ講座など、地域での生活に役立てたり、閉じこもり防止になるような講座を開催しています。	継続	どの世代にも役立つ、地域での生活がさらに充実するような講座を企画していく。
P72	弁護士などによる心配ごと相談事業	市民が気軽に来所でき、生活上の相談をすることができる「心配ごと相談」を行っています。第 2・4 木曜日は法律相談、第 3 木曜日は人権相談を行っています。	総務係	○	人権相談は相談対象が分かりづらいこともあり、相談件数が伸びていません。法律相談は、平成 28 年度から市へ業務移管されます。	充実	人権相談については、継続して事業内容の PR に努めます。
P73	【新規事業】 生活困窮者自立相談支援事業	近年増加している生活困窮に至るリスクの高い人々や、働き盛りの家族を含む生活保護受給者などの生活を支えるセーフティネットの構築を国の動向に合わせて目指します。	地域福祉係 生活困窮者自立相談支援担当 (相談支援係)	◎	平成 27 年度よりモデル事業から正式事業となり、相談員を 3 名配置し、新たに家計相談支援事業も受託しました。平成 27 年度は事業の周知活動に特に力を入れて取組んだ結果、毎月の相談件数は増加傾向にあります。 (平成 26 年度に対し、平成 27 年度は 1.6 倍の増加)	継続	今後も事業の周知に努め、個々の相談から地域課題を読み取り、地域の社会資源を活用しながら支援の輪の構築を目指します。
P97	ボランティア相談員による相談支援	職員による相談だけでなく、ボランティア相談員がボランティア活動をしたい人やボランティア活動をしている人の相談に応じています。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎	第 1 土曜日、第 2 水曜日、第 4 火曜日に計画どおり定期的に開催しています。平成 26 年度は 13 件、平成 27 年度は 12 件 (H28.2 現在) の相談がありました。	充実	今後はより身近なところで相談できるよう、公共施設など地域での出張相談も行っていきます。

平成 27 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P67	【重点プロジェクト】 地区社協設置事業（CSW の 配置）（再掲）	制度の狭間で困っている方を支援するCSWを置き、地域住民の方と一緒に誰もが安心して暮らせる地域になるよう考えていく体制を作ります。	地域福祉係	○		別紙参照	
P68	【重点プロジェクト】 「見守りサポーター ながくて」養成事業（再掲）	「見守りサポーター ながくて」を養成し、新しい見守り体制を作ります。あいさつ運動を行う「初級」、サロンの支援や地区社協の部員となる「中級」、訪問活動も行う「上級」の3種類の講座があります。	地域福祉係	○		別紙参照	
P69	【重点プロジェクト】 地域交流のつどい・サロン 活動の支援（再掲）	身近な地域で、仲間との交流や生きがいづくりをきっかけに「閉じこもり防止、健康増進」を目的とした団体に対し、助成金交付や立ち上げ支援、運営相談を行います。	地域福祉係	◎		別紙参照	
P70	福祉実践者のつどい（再掲）	市内の福祉事業所に勤務している職員同士の意見交換や交流を目的に3か月ごとに実施しています。	地域福祉係	◎	アンケート等で参加者の意向をふまえ、交流会、ケース検討会などを実施しています。	改善	参加の意向により、4か月ごとの開催とします。開催を継続することで、事業所間のネットワークを強固にし、福祉実践者のスキルアップを目指します。

平成 27 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P71	【新規事業】各種講座の開催（再掲）	住民全ての方が、安心して暮らせるような市全体の福祉の向上を目的にこれまでにないインフォーマルな視点で、多分野にわたる講座を開催します。	地域福祉係	◎	平成 26、27 年度ともに、計画通り年 8 回開催しています。婚活講座、終活講座、中高年のおしゃれ講座など、地域での生活に役立てたり、閉じこもり防止になるような講座を開催しています。	継続	どの世代にも役立ち、地域での生活がさらに充実するような講座を企画していきます。
P74	総合相談支援業務	高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続するために必要な支援を把握し、適正なサービスや機関、制度につなげる支援を行います。	地域包括支援センター（相談支援係）	◎	依頼に応じ、口腔ケア、感染予防などの内容で出前講座・出張相談を実施しました。また、高齢者の外出や居場所作りの促進を目的に、社会資源マップの作成・配布を行いました。	充実	これまで定期的に行っている地区での出張相談に加え、各小学校区での出張相談を毎月行います。
P75	社会福祉大会	福祉関係者が集まり、福祉活動の充実に向けて一丸となるだけでなく、社会福祉の発展に功績のあった人々を顕彰し、社会連帯意識の高揚と住民主体の地域福祉の推進を目的に、毎年開催しています。	総務係	◎	平成 27 年度は法人設立 30 周年記念大会として、記念講演を実施するなど、150 名を超える参加者があり、盛況に開催されました。	継続	年間定期開催日の検討と PR を早期に行うなど配慮していくことで、より多くの方に参加いただき、市内の福祉に対する理解と協力を得るようにします。
P76	福祉まつり	市内のボランティア団体・福祉施設が出展し、活動内容などを発信できるように場を設けると同時に、ボランティア同士や福祉関係者同士が連携するための交流も目的に開催しています。	全社	◎	平成 26 年度は 1700 人、平成 27 年度は 1500 人の来場者がありました。2 か年ともに、実行委員を設置し、企画・立案も実行委員の主導で実施しました。	改善	地域福祉活動計画の当初計画に則り、経費削減と参加団体の増加を目指します。また、福祉まつりの意義や目的を見直すとともに、「福祉」について考える機会となるよう実行委員会に諮ります。

平成 27 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P90	貸付相談事業	低所得世帯や障がい者・高齢者世帯などで、生活にお困りの方への緊急対策及び世帯の自立更生資金の貸付を行っています。	地域福祉係	○	貸付が必要とされる世帯に対し、体調や家族構成などを考慮し、柔軟な対応ができるよう小口資金貸付要綱の見直しを行い整備しました。専門の職員配置はできていません。	継続	単なる貸付だけではなく、生活困窮者自立相談支援事業の利用を促したり、定期的な償還指導を行うことで地域での生活を長期的に支援します。
P96	ボランティア養成研修・啓発	ボランティアを養成する入門講座や育成のための研修、啓発のためのイベントなどを開催することで、ボランティア活動者の増加を目指します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	○	地域に出向き、ボランティア紹介を兼ねた啓発イベント（ボラ活）や、託児ボランティアの養成講座を開催しました。事業の評価方法については、検討中です。	改善	地域に出向いて行う養成講座を続けていきます。地区社協と連携し、西、北、市が洞小学校区で開催します。内容は、入門講座だけでなく、地域の要望もふまえて検討していきます。

平成 27 年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標 4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P67	【重点プロジェクト】 地区社協設置事業（CSW の 配置）（再掲）	制度の狭間で困っている方を支援するCSWを置き、地域住民の方と一緒に誰もが安心して暮らせる地域になるよう考えていく体制を作ります。	地域福祉係	○		別紙参照	
P68	【重点プロジェクト】 「見守りサポーター ながくて」養成事業（再掲）	「見守りサポーター ながくて」を養成し、新しい見守り体制を作ります。あいさつ運動を行う「初級」、サロンの支援や地区社協の部員となる「中級」、訪問活動も行う「上級」の3種類の講座があります。	地域福祉係	○		別紙参照	
P69	【重点プロジェクト】 地域交流のつどい・サロン 活動の支援（再掲）	身近な地域で、仲間との交流や生きがいがづくりをきっかけに「閉じこもり防止、健康増進」を目的とした団体に対し、助成金交付や立ち上げ支援、運営相談を行います。	地域福祉係	◎		別紙参照	
P70	福祉実践者のつどい （再掲）	市内の福祉事業所に勤務している職員同士の意見交換や交流を目的に3か月ごとに実施しています。	地域福祉係	◎	アンケート等で参加者の意向をふまえ、交流会、ケース検討会などを実施しています。	改善	参加の意向により、4か月ごとの開催とします。開催を継続することで、事業所間のネットワークを強固にし、福祉実践者のスキルアップを目指します。
P71	【新規事業】各種講座の開催（再掲）	住民全ての方が、安心して暮らせるような市全体の福祉の向上を目的にこれまでにないインフォーマルな視点で、多分野にわたる講座を開催します。	地域福祉係	◎	平成 26 年度、27 年度ともに、計画通り年 8 回開催している。「婚活講座」「終活講座」「中高年のおしゃれ講座」など、地域での生活に役立てたり、閉じこもり防止になるような講座を開催しています。	継続	どの世代にも役立ち、地域での生活がさらに充実するような講座を企画していきます。

平成 27 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P71	【新規事業】 各種講座の開催（再掲）	住民全ての方が、安心して暮らせるような市全体の福祉の向上を目的にこれまでにないインフォーマルな視点で、多分野にわたる講座を開催します。	地域福祉係	◎	平成 26、27 年度ともに、計画通り年 8 回開催しています。婚活講座、終活講座、中高年のおしゃれ講座など、地域での生活に役立てたり、閉じこもり防止になるような講座を開催しています。	継続	どの世代にも役立ち、地域での生活がさらに充実するような講座を企画していきます。
P73	【新規事業】 生活困窮者自立相談支援事業（再掲）	近年増加している生活困窮に至るリスクの高い人々や、働き盛りの家族を含む生活保護受給者などの生活を支えるセーフティネットの構築を国の動向に合わせて目指します。	地域福祉係 生活困窮者自立相談支援担当 (相談支援係)	◎	平成 27 年度よりモデル事業から正式事業となり、相談員を 3 名配置し、新たに家計相談支援事業も受託しました。平成 27 年度は事業の周知活動に特に力を入れて取組んだ結果、毎月の相談件数は増加傾向にあります。 (平成 26 年度に対し、平成 27 年度は 1.6 倍の増加)	継続	今後も事業の周知に努め、個々の相談から地域課題を読み取り、地域の社会資源を活用しながら支援の輪の構築を目指します。
P91	ボランティアの紹介・斡旋	ボランティア活動に参加したい人に対し、ボランティアを求める方を紹介しています。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎	HP でボランティア募集の情報を掲載するなど、情報発信に努めてきました。	充実	HP を見ない方もいるので、今後はボランティア通信を発行し、回覧板などを通じ、さらに地域でボランティアが活躍できる機会を増やすように周知していきます。
P92	【新規事業】 災害時ボランティアセンター事業	行政及び関係機関・ボランティアなどと協働しながら、被災者、被災地の早い復興をはかるため、災害時に設置します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎	計画通り、マニュアルの作成、訓練、災害ボランティアに関する育成および養成講座を開催してきました。	充実	継続して必要備品を計画的に購入していきます。また、訓練や講座は、地震以外の災害を考慮したり、障がい者の避難方法を検討するなど、内容の充実を図っていきます。

平成 27 年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標 4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P93	会員募集事業	地域福祉への理解と協力を求めるため、地域福祉の推進を目的に会員募集を行っています。	地域福祉係	◎	平成 26 年度に対し、平成 27 年度は 2%ほど増加しました。会員の使途をチラシに掲載し、他の講座や地域で周知活動に努めています。	継続	継続して、使途がわかりやすいチラシ作成や周知活動に努めていきます。会員募集強化月間以外もいつでも会員加入できる環境を作ります。
P94	共同募金運動事業	住民相互の助け合いと地域福祉の推進を目的に、赤い羽根共同募金（毎年 10 月）及び歳末助け合い募金（毎年 12 月）を実施しています。	地域福祉係	◎	共同募金委員会を設置し、事業の検討や評価を行うようになりました。また、街頭募金の協力福祉団体や募金箱設置店などの協力者を新たに得ることができ募金活動を充実させることができました。	継続	全国的に個別募金が減少していく時代背景を踏まえ、募金方法や配分金事業の検討を行い、透明性のある事業に活用されるよう検討していきます。
P95	ひとり親援助活動	映画鑑賞をした親子に対し、一人あたり 500 円の助成を行っています。	地域福祉係	◎	映画助成の利用者が固定化されている課題があったため、計画に掲げたひとり親に対するアンケート調査を行い、大幅に事業を見直しました。その結果、最も多かった経済不安に対し、家計講座を開催しました。	改善	今後は、ひとり親世帯がおかれている状況を分析し、子どもの貧困などの福祉課題の啓発に努めます。
P96	ボランティア養成研修・啓発（再掲）	ボランティアを養成する入門講座や育成のための研修、啓発のためのイベントなどを開催することで、ボランティア活動者の増加を目指します。	ボランティアセンター（地域福祉係）	○	地域に出向き、ボランティア紹介を兼ねた啓発イベント（ボラ活）や、託児ボランティアの養成講座を開催しました。	充実	地域に出向いて行う養成講座を続けていきます。地区社協を活用し、西、北、市が洞小学校区で開催します。
P97	ボランティア相談員による相談支援（再掲）	職員による相談だけでなく、ボランティア相談員がボランティア活動をしたい人やボランティア活動をしている人の相談に応じています。	ボランティアセンター（地域福祉係）	◎	第 1 土曜日、第 2 水曜日、第 4 火曜日に計画どおり定期的に開催しています。	充実	今後はより身近なところで相談できるよう、地域での出張相談も行っていきます。

平成 27 年度長久手市地域福祉計画 事業評価シート（基本目標 4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P98	【新規事業】障がい者相談業務	福祉の家に設置されている「長久手市障がい者相談支援センター」において、障がい者、障がい児、またそのご家族の相談業務を行っています。	障がい者相談支援センター (相談支援係)	◎	相談員の適性に応じた相談支援業務の実施、相談者の支援経過に関する情報の共有の仕組みづくりを行ないました。	継続	自立支援協議会を中心に、途切れない支援の仕組みづくりを目指します。

平成27年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P67	【重点プロジェクト】地区 社協設置事業（CSWの配置） （再掲）	制度の狭間で困っている方を支援するCSWを置き、地域住民の方と一緒に誰もが安心して暮らせる地域になるよう考えていく体制を作ります。	地域福祉係	○		別紙参照	
P68	【重点プロジェクト】「見守りサポーターながくて」 養成事業 （再掲）	「見守りサポーターながくて」を養成し、新しい見守り体制を作ります。あいさつ運動を行う「初級」、サロンの支援や地区社協の部員となる「中級」、訪問活動も行う「上級」の3種類の講座があります。	地域福祉係	○		別紙参照	
P69	【重点プロジェクト】地域 交流のつどい・サロン活動 の支援 （再掲）	身近な地域で、仲間との交流や生きがいづくりをきっかけに「閉じこもり防止、健康増進」を目的とした団体に対し、助成金交付や立ち上げ支援、運営相談を行います。	地域福祉係	◎		別紙参照	
P70	福祉実践者のつどい （再掲）	市内の福祉事業所に勤務している職員同士の意見交換や交流を目的に3か月ごとに実施しています。	地域福祉係	◎	アンケート等で参加者の意向をふまえ、交流会、ケース検討会などを実施しています。	改善	参加の意向により、4か月ごとの開催とします。開催を継続することで、事業所間のネットワークを強固にし、福祉実践者のスキルアップを目指します。

平成 27 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P71	【新規事業】 各種講座の開催（再掲）	住民全ての方が、安心して暮らせるような市全体の福祉の向上を目的にこれまでにないインフォーマルな視点で、多分野にわたる講座を開催します。	地域福祉係	◎	平成 26、27 年度ともに、計画通り年 8 回開催しています。婚活講座、終活講座、中高年のおしゃれ講座など、地域での生活に役立てたり、閉じこもり防止になるような講座を開催しています。	継続	どの世代にも役立ち、地域での生活がさらに充実するような講座を企画していきます。
P92	【新規事業】 災害時ボランティアセンター事業（再掲）	行政及び関係機関・ボランティアなどと協力しながら、被災者、被災地の早い復興を行うため、災害時に設置します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎	計画通り、マニュアルの作成、訓練、災害ボランティアに関する養成講座を開催してきました。	充実	継続して必要備品を計画的に購入していきます。また、訓練や講座は、地震以外の災害を考慮したり、障害者の避難方法を検討するなど、内容の充実を図っていきます。
P96	ボランティア養成研修・啓発（再掲）	ボランティアを養成する入門講座や育成のための研修、啓発のためのイベントなどを開催することで、ボランティア活動者の増加を目指します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	○	地域に出向き、ボランティア紹介を兼ねた啓発イベント（ボラ活）や、託児ボランティアの養成講座を開催しました。	充実	地域に出向いて行う養成講座を続けていきます。地区社協を活用し、西、北、市が洞小学校区で開催します。
P97	ボランティア相談員による 相談支援（再掲）	職員による相談だけでなく、ボランティア相談員がボランティア活動をしたい人やボランティア活動をしている人の相談に応じています。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎	第 1 土曜日、第 2 水曜日、第 4 火曜日に計画どおり定期的に開催しています。	充実	今後はより身近なところで相談できるよう、地域での出張相談も行っていきます。
P99	社会福祉協力校助成	市内の小・中・高等学校に対し、福祉協力校として委託し、福祉教育を推進します。	ボランティアセンター (地域福祉係)	◎	社会福祉協力校連絡協議会を設置しました。また、計画どおり市内の小・中・高等学校で福祉実践教室を開催しました。	充実	社会福祉連絡協議会で、先進地の視察を行い、新しい取り組みを検討します。また、福祉実践教室の個人ボランティアを募り、より効果的な教室が開催できるよう努めます。(科目の開拓)

平成 27 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P100	高齢者生涯学習事業	市内の 60 歳以上の方を対象に、生きがいつくり、健康増進、仲間づくりを目的に、運動や工芸、パソコンなどの各種講座を開催しています。	地域福祉係	◎	参加者実人数約 400 名の参加を得て、約 25 程度の講座を開催しました。本事業に参加をするようになってから通院しなくなった参加者など健康増進、閉じこもり防止に役立っています。	改善	市の高齢者事業として事務移管されます。
P101	福祉作文コンクール事業	児童・生徒の福祉活動の啓発を目的に、作文を通して福祉活動を考える機会を設けています。	地域福祉係	◎	平成 26 年度は 360 点、平成 27 年度は 256 点の応募がありました。最優秀賞の児童・生徒の作文を福祉大会で朗読発表しました。優秀作品集を市内公共施設への配布しました。	継続	HP への掲載なども含めて、掲載方法、配布先を検討し、小中学生から地域の福祉について考えていける機会を設けていきます。
P102	男性の料理教室の開催	男性の高齢者を対象に、手軽に作れて、栄養の取れる料理教室を開催します。	地域福祉係	◎	平成 26 年度は 17 名、平成 27 年度は 19 名が修了しました。療養中の妻に料理が提供できるようになった参加者など、高齢者世帯の生活支援としても効果がありました。中年から学べるよう参加年齢枠を引き下げました。	継続	中高年世帯の生活支援、健康管理を目的に継続し、参加者同士の仲間づくりも図ります。
P103	地域のケアマネジャーの個別支援とネットワーク構築	高齢者などの個々の状況や変化に応じた包括的、継続的なケアマネジメントを実現するため、他事業所のケアマネジャーの個別相談や助言を行うなどの後方支援を行っています。	地域包括支援センター (相談支援係)	◎	ケアマネジャーからの相談に対する助言や、支援が困難な相談に対する支援方法の検討、ケアマネジャーの資質向上や情報交換を目的としたケアマネサロンを運営しました。	継続	ケアマネジャーを対象とした勉強会や、ケアマネサロンの実施など、地域のケアマネジャーの後方支援に努めます。

平成 27 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～27 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
P104	高齢者に関するネットワーク構築	各関係機関主催の会議に出席し、一人暮らし高齢者、認知症高齢者、徘徊高齢者、高齢者虐待、高齢者の消費者被害などの早期発見と見守りネットワークの構築を目指しています。また、行方不明高齢者保護ネットワーク事業の運営と推進を目的に、広報活動も行っています。	地域包括支援センター (相談支援係)	◎	定例民生委員児童委員協議会、地域密着型サービス事業所の運営会議などに参加し関係者とのネットワーク構築に努めました。また、「愛ながくて夢ネット」会議、東名古屋医師会地域包括への参加に参加することで、医療とのネットワーク構築も努めました。	継続	今後も、各関係機関主催の会議への出席し、地域で暮らす高齢者がいつまでも住みなれた地域で暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築を目指します。
P105	理事会・評議員会・監事会の運営	地域の福祉関係者によって、事業計画・予算、事業報告・決算の承認、また、定款変更や法人運営にかかる重要な案件の執行・議決などを行っています。	総務係	◎	理事会・評議員会・監事会いずれも、計画どおり（理事会・評議員会は、年3回以上開催し、監事会は年2回）開催しています開催しました。	継続	社会福祉法改正や法人制度改革にあわせ、公益性・非営利性を確保する観点から、説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人運営を目指します。
P106	各団体の事務局業務	身体障害者福祉協会、遺族会、シニアクラブ連合会、子ども会連絡協議会、希望の会などの活動が円滑に進むよう事務局を担います。	地域福祉係	○	先進地の視察研修、活性化を目的とした講座など開催することができた団体もありました。一方、加入率の低下が依然として課題の団体もあります。	充実	それぞれの団体が、独自で企画する楽しさや団体の意義を共有できるような機会を提供できるよう検討していきます。